

2018 年度後期 学部授業アンケートのサマリー

1 はじめに

平素は本学の FD 活動にご協力いただき感謝します。2018 年度後期の授業アンケートも無事終了し、その一部をサマリーとしてまとめました。今回も前期までと同様に、学生の満足度を上げるための要因を検討しました。

2 実施状況と分析の対象

はじめに、実施率、回収率をそれぞれ表 1、表 2 に示します。

表 1 を見ると、実施率は講義・演習科目では、93.50% と昨年度と比較して高い値になっていますが、一方で、実験科目で 65.79% とそれに比べて低い値になっています。

実験科目が低い理由は、2018 年度後期から、多くの学科で新カリキュラムの 3 年次のゼミナール系科目がスタートしたためだと考えられます。実際に、実験科目でアンケートを実施されなかった 75 科目のうち、49 科目が 3 年次のゼミナール系科目、17 科目が 4 年次のゼミナール系科目です。アンケート項目がゼミナール系科目の内容に合っていないことや、ゼミナール系科目では履修者数が少ないためにアンケートが実施しづらいことなどの問題点があり、ゼミナール系科目の授業アンケートの実施・集計の仕方をどのようにするかを現在、FD 委員会で検討しているところです。

表 2 を見ると、回収率は講義・演習科目は 78.77% 実験科目は 73.82% となっています。ここで、ゼミナール系科目に関しては、研究室の人数把握ができていないために、履修登録者を一律 20 名として計算しています。実際はほとんどの場合は 20 名よりも少なく、それゆえ、回収率は実際のものより低くなっています。

今回の分析では 56,595 枚の回答うちの、データ欠損のあるものを除いたもの 53,991 枚を用いました。

表 1: 科目数・回収数・回収率

(a) 講義・演習

	対象科目数 [件]	回収科目数 [件]	実施率 [%]
2018 年度後期	1,276	1,193	93.50
2018 年度前期	1,442	1,327	92.02

(b) 実験

	対象科目数 [件]	回収科目数 [件]	実施率 [%]
2018 年度後期	228	150	65.79
2018 年度前期	134	100	74.63

表 2: 履修者数・回収数・回収率

(a) 講義・演習

	履修登録者延べ数 [枚]	回収枚数 [枚]	回収率 [%]
2018 年度後期	70,421	52,076	73.95
2018 年度前期	81,589	70,040	85.84

(b) 実験

	履修登録者延べ数 [枚]	回収枚数 [枚]	回収率 [%]
2018 年度後期	6,135	4,519	73.66
2018 年度前期	5,399	4,246	78.64

3 まとめ

2018 年度後期の授業アンケートの分析を行い学生の成長度と満足度に影響を与える要因を調べました。そして、定性的にはこれまでと同様の結果を得ました。

因子分析の立場からは、「教員の授業の進め方・熱意」「学生の意欲」「学生の達成感」の 3 因子で説明できることがわかりました。特にこれらの因子と満足度（設問 20）とを重回帰分析を行うと、他の因子に比べて第 3 因子「学生の意欲」はほとんど影響ないことがわかりました。

しかしながら、これまでと同様に、およそ 30%の回答が同じ記号（例えば設問 1 から 20 まで全て 5 など）にマークされており、このようなばらつきの少ない回答が信頼できるものかという疑問が残ります。中にはアンケートの内容を読まずに、あまり考えずに、マークしてしまう学生もいるでしょう。授業アンケートの結果をより効果的にするためには、学生がよく考えずに同じ記号にマークしてしまわないようにしていく必要があります。

ここで、同じ記号にマークされている回答が多いのには 2 つの理由があると考えています。1 つ目は、マークシートを塗るのを学生が煩わしいと感じていることであり、2 つ目は授業アンケートにきちんと回答することがどう授業改善に役立っているかが、学生にはわかりづらいということです。

1 つ目については、今学期から、授業アンケートが manaba のアンケート機能を用いたものになります。そのため、いままでのマークシートを塗るという煩わしさからは学生は解消されると考えています。2 つ目については、授業アンケートをきちんと答えることが、授業の改善につながることで、それが学生の利益になるということをきちんと伝えていくことが大切だと考えています。この点については昨年度から学生の代表者に FD 活動に参加してもらい、これから、教職員と学生とが一緒になって FD 活動をしていこうと考えていますが、それを通して徐々に学生に授業アンケートへの意識も変わっていくことを期待しています。

最後に、すでに述べましたが、今学期から授業アンケートが manaba のアンケート機能を用いたものになります。多くの大学で、授業アンケートが紙を用いたものから web を用いたものに変更されてきていますが、そうした場合に回答率が下がるという報告があります。本学の場合は、学生全員に iPad を貸与していますので、回収率の低下は他大学ほどではないと考えていますが、回答率が下がらぬよう、十分な回答時間の確保をお願いいたします。貴重な授業時間を割いてのアンケートですので大変申し訳ないのですが、よろしくお願いいたします。